科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 9 月 2 8 日現在

機関番号: 12603

研究種目: 基盤研究(A)(一般)

研究期間: 2016~2020

課題番号: 16 H 0 1 9 0 9

研究課題名(和文)記憶論的転回以後の集合的記憶論の学際的再検討

研究課題名(英文)Interdisciplinary Reconsideration of Collective Memories after the Mnemological

Turn

研究代表者

岩崎 稔(Iwasaki, Minoru)

東京外国語大学・その他部局等・名誉教授

研究者番号:10201948

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 25,900,000円

研究成果の概要(和文):集合的記憶という視点が受容されたことで「記憶論的転回以後」という位相において生まれた問題やコンフリクトを多面的に再検討した。これにより それまで等閑視されていた数多くの個別事例を可視化したが、そこには震災の記憶や、人類学者によるいわゆる人骨問題も含まれる。また 歴史をめぐる情動的な次元を視野に入れることで、学術的研究を超えた社会現象や、サブカルチャーも含む歴史表現の特徴、集合的記憶をめぐる反知性主義等を解明した。さらに 犠牲者意識ナショナリズムとして噴出する異なった犠牲者意識間の相克を検討し、その隘路の克服のためにmultidirectional memoryというアプローチにたどり着いた。

研究成果の学術的意義や社会的意義本事業は、とくにポスト冷戦期の「記憶」に関するさまざまな論争について、切り開かれた認識の地平と残された課題を総括する役割を担った。諸論争を回顧した場合、実証的な蓄積が顕著に進んだ例が数多くある一方で、学術的な認識とは背反する内容が情動的に拡散するような事態も少なからず生まれた。そうした複雑な現象について、たんに所与の言説を批判的に検討するだけではなく、過去の批判的語り方それ自体や、「犠牲者意識ナショナリズム」などの現象にも学際的な検討を加えた。これによって本研究は、記憶論争が作り出してきた蓄積を、学術的な活動に限定されない文化表現まで視野に入れつつ、確実に次の世代に手渡すことに貢献した。

研究成果の概要(英文): Interdisciplinarily have we been reexamining the new matters and conflicts that has arisen after "mnemological turn": (1) A lot of individual cases that had been ignored until then were thematized, like memories of the earthquake disaster and the so-called "human bone troubles by anthropologists." And (2) by having made an in-depth analysis into the emotional dimension of history, we clarified social phenomena outside of academic research and considered the characteristics of various historical expressions including subcultures which are expressing a swing toward an anti-intellectualism. Furthermore, (3) we have examined conflicts between different victim consciousnesses that often erupt as so called victimhood nationalism, and in order to overcome such a bottleneck we have, even still tentatively, arrived at the new approach of "multidirectional memory."

研究分野: 政治学

キーワード: 集合的記憶 想起の文化 多方向的想起 忘却 記憶の抗争 歴史修正主義 犠牲者意識ナショナリズ

ムー記憶術

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

記憶をめぐる議論自体は、国際的には 1986 年の「ドイツ歴史家論争」を嚆矢とし、また日本語圏でもそれにすこし遅れながら概ね 1990 年代初めあたりから始まっていた。それは、人文学や社会科学の議論のなかで、「記憶」「想起」「忘却」という術語が過去をめぐる語りに顕著に用いられるようになったことに端的に示されている。そうした議論の多くは、ときには特異性をもった記憶の可視化や回復として論じられるとともに、集合的な動態を持つ問題として概念化された。

こうした集合的記憶研究のそれぞれは、多くの類似点や相互触発関係があったにも関わらず、その論理構造や問題意識においては多元性や異質性を持ち、別々の文脈のなかで混乱すら伴って展開されてきたが、その多義性や混乱に本事業の初発の問題意識があった。たとえば、抑圧された被害者の記憶については、過去の記憶の回復と再生をモデルとした記憶論(再生的記憶モデル)がおのずから論争や議論の形式を規定する。しかし、それに対して、国民的記憶の生成メカニズムに照準を合わせた「記憶の場」論のような作業の場合には、記憶が産出されると理解されることが一般的であり、規定的でもあった(産出的記憶モデル)。しかし、それらの異なった考察の当事者のあいだには、差異の自覚も適切な協働も欠落していた。このようなズレを一例として、集合的記憶論は、多様なトピックに広がりながら、概念装置や発想の違いに導かれて、意識しない混乱や齟齬を孕んでいた。

その行き違いは、戦争犯罪やホロコーストの事例だけでなく、トラウマや精神分析による知見の刷新や実践的適用でも起こる。フェミニズムが、近代家族の規範性との対決のなかで、家族の神話のなかに閉じ込められていた性的虐待の記憶を問題にしたときには、告発された加害者だけでなく、伝統的家族観を保守するひとびとからも対抗的な攻撃やバックラッシュの言説が奔出した。アメリカで「虚偽の記憶論争」が起こったように、ナショナルメモリー以外の次元でも、記憶の概念的理解をめぐってきわめて険しい対立が存在する。そこでは、虐待の記憶を「取り戻した」と認識する立場は、「記憶」を真正性の回復の物語として捉えるのに対して、それを攻撃する側は、「記憶」が外的操作で挿入可能なものだと説明する実験心理学の記憶概念を動員した。

また本研究は、ナショナルメモリーに代表される国家や地域の語り、一定のアイデンティティ集団の記憶、そしてそれをとりまく感情の動態を一方に見据えながら、それらが歴史学やそれに準じる歴史学研究の実証的な成果と激しく乖離したり、背反的なものとなったりする事例をもメタレベルから解明することが必要であると考えた。その反省的な分析の下絵として、集合的記憶論の混乱には、脱冷戦期に特異な政治状況や、それに対応して進む新自由主義的再編過程が連動しているという認識があった。

2.研究の目的

記憶論の混乱が一因ともなって、論争の成果や効果が、歴史認識の深化に結びついていかないだけでなく、かえって論争関係が特殊化してこわばったり、たんなるレトリックの応酬にとどまったりすることもある。それは多くの弊害を生み出し、集合的記憶そのものの知的劣化すら招いた。あらためてそこに出現している学問的、知的混乱の意味を整理し、集合的記憶と忘却の論争史を、その多軌道的、多次元的であった経緯を踏まえつつ整理し、具体的な事例に即しつつ相互関係を解明することが、本事業の分担者が設定した基本的な研究目的であった。それは、いかに過去三十年間の記憶論争の学際的で多元的な成果と課題を再整理し、位置づけ直し、そのことを通じて、集合的記憶に関する論争的蓄積を命題的な形で次世代に継承できるのかということに取り組むことでもあった。もとより、集合的記憶に関する議論は、それ自体が政治的な文脈を持っているため、学術的な整理で対立局面が解消するなどということは期待できなかった。しかし、不必要な概念的混乱を回避し 不毛な対立となっている問題の一部を少なくとも知的対話の

不必要な概念的混乱を回避し 不毛な対立となっている問題の一部を少なくとも知的対話の中に引き戻し さらに記憶をめぐる論争史の蓄積を雲散霧消させないで、次の世代に引き継ぐことは可能である。

要約すれば、本共同研究は、いわゆる「記憶論的転回」以後に現れてきたさまざまな集合的記憶に関する争点、あらたな問題提起、理論的な装置などを再整理し、集合的記憶の成果を整理したり、見通しのきいたものにしたりすることをめざした。

3.研究の方法

本事業は、集合的記憶の学際的な研究を目指したために、その方法論はそれぞれの研究分担者がベースとしているディシプリンによっておのずから多様になることは避けられなかった。しかし、まさにこの多様性を、記憶の概念に即して橋渡しすることが課題であったために、つぎの諸点を分担者間で方法的に共有しつつ進めることに努めた。それは、 客観的な歴史的事実に対して、記憶を主観的な現象として劣位に位置づける思考を自覚的に退けること、 記憶をとくにコンフリクトの具体的な争点に即して考察するとともに、そこから共通の動態と論理を切り取ること、つまりメタレベルの視座を確保すること、 記憶をテキストやイデオロギーとしてだけでなく、対象的な現象として、とくに形象として考察し、コメモレーションと記念碑やメモリー・アートをも考察の対象とする視点を重視すること(想起の文化) また、記憶論を、記憶と忘却の相互作用のなかで立体的にとらえること、などである。具体的な過程としては、複数の個別

研究会を中心に協働作業を進め、さまざまなモノグラフをまとめた。ただ、それらの集約段階で、おりからの Covid19 のパンデミックによって制約されたことは大きな問題であった。それにも関わらず、Zoom Meeting を用いた代替的な試みを積み重ねることで、その困難に対処した。

4.研究成果

記憶研究について、学際性を積極的かつ意識的な追求したことで、メモリースタディーズの全体像を視野に収めることでは、見通しが広がった。一連の共同作業のなかから浮かび上がってきた論点は最終的に一〇の視座に整理し、その枠組みをさらなる作業の中間地点として共有することができた。一〇の視座として整理したのは次の表のとおりである。

	視座	関連する代表的な問題と語彙
1	記憶の主題と争点	集合的記憶、ホロコースト、「慰安婦」論争、戦争記憶、 全体主義、スターリン主義、「汚い戦争」、五月広場の母 たち、歴史修正主義、植民地主義、Vichy syndrome、近代 奴隷制、レイシズム、国民史的事件、『記憶の場』、空 襲、引揚げ、移動と越境、災害とテロル、性暴力被害、性 差別、冷戦期の動員、1968、犠牲者意識ナショナリズム、
2	記憶の形象化	multidirectional memory commemoration、monument/counter-monument、銅像撤去、 サブカルチャー、記憶アート
3	記憶の技術・記憶のメ ディア	記憶術、記憶の方舟、「記憶の劇場」、図書館、「忘却 術」、アーカイブ、記憶のテクノロジー、電脳記憶
4	記憶動態のモデル	不随意的記憶、再生・維持的記憶モデルvs産出・構築的記 憶モデル、蓄積的記憶/機能的記憶、中動相モデル、現在 主義、憑依学 = hauntology、多方向的記憶
5	記憶の真理性と叙述法	ミクロストリア、史学史とメタヒストリー、「虚偽の記憶」論争、喩法論、来歴論、物語(り)論、「忘却の穴」、fiction/faction、post-truth、post-memory
6	記憶の機能	Erinnerung, public memory/vernacular memory/private memory、自己確証機能/脱中心化機能、記憶の分有、「喪の仕事」、recollection/anamnesis、Eingedenken、判断力と構想力、
7	記憶の偏差と種差	national memory/global memory、場所の記憶、記憶の性 差と反性差、当事者性、無文字社会の記憶、動物記憶
8	記憶と政治社会制度	歴史修正主義、想起の文化、「忘却の効用」論、真実和解 委員会、移行期正義、謝罪と補償、国民的和解/和解拒 否、時際主義批判、寛容論、和解学
9	記憶と忘却の心理	精神分析、トラウマ、PTSD、感情記憶、レジリエンス、エコラリアス、霊性研究、左翼メランコリー
10	記憶論の系譜学	神学、哲学、心理学、文学、美学、文芸、人類学、民俗学、国際法学、社会学などの各系譜、反記憶論

こうした視点ごとに多様な論考を産出したが、ナショナルメモリーとその動態の分析をさらに加えただけでなく、とくにメモリースタディーズとハザードスタディーズの横断という観点から、東日本大震災やパンデミックに関わる多様な記憶論に関してもいくつかの総括報告を提示できたことは、一定の成果であった。それは成田龍一の「悪疫年2020」などに典型的に示されており、あわせて断続的に震災後文学や原発震災の記憶についてのシンポジウムを実施することができた。

またグローバルメモリーとして表現される国際的なメモリースタディーズの進展を通じて、記憶論に関する被害の類型や言説のパターンが、越境的なリソースとして定着していく過程を明らかにすることもできた。それはグローバルメモリー、コロニアルメモリー、およびメモリーレジームについての考察として結実している。これらの議論は、板垣竜太「日本の戦後処理と植民地支配責任」、米谷匡史「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」、石井弓 The Transmission of Wartime Memories: Films, Stories, and Dreams in Rural Villages of Shanxi, China などの論考のなかに表れている。同時に板垣竜太の連続報告「台湾の人骨問題と日本・琉球 :京都帝大解剖学講座の系譜」などによって、京大人骨事件という個別の事例についても、これをコロニアルメモリーの解読実践として展開できた。

さらに、これらとは別に、「犠牲者意識」が作り出してしまう負の現象をも掘り下げ、硬直した「ナショナリズム」として噴出する異なった犠牲者意識間の相克を概念的に可視化した。そして、最終段階で、そのような隘路の克服のために多元志向的記憶 multidirectional memory というアプローチにもたどり着いたことも重要な進捗である。この志向性については、引き続き共同作業として解明していくことになる。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計50件(うち査読付論文 24件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 17件)

	. "
1.著者名	4 . 巻
成田龍一	913
2.論文標題	5.発行年
いま、コロナウイルス禍の中で 社会史研究の成果に学ぶ	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
歴史地理教育	54-59
ルスペウンキナス 戸	J4-J3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
65	
ナープンフクトフ	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
	_
成田龍一	48-12
2.論文標題	5 . 発行年
- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	2020年
忘汉午∠∪∠∪□ア	2020 11
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
現代思想	233-245
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	'-
オープンアクセス	国際共著
	四际 代石
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
	·
	4 . 巻
1.著者名	4.巻
1 . 著者名 成田龍一	4.巻 48-14
成田龍一	48-14
—	
成田龍一 2.論文標題	48-14 5 . 発行年
成田龍一	48-14
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み	48-14 5.発行年 2020年
成田龍一 2. 論文標題	48-14 5 . 発行年
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み	48-14 5.発行年 2020年
成田龍一 2. 論文標題	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
成田龍一 2. 論文標題	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
成田龍一 2 . 論文標題 序・2 1980年代の試み 3 . 雑誌名 現代思想	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221
成田龍一 2. 論文標題 序・2 1980年代の試み 3. 雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み 3.雑誌名 現代思想	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221
成田龍一 2. 論文標題 序・2 1980年代の試み 3. 雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無
成田龍一 2 . 論文標題 序・2	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無
成田龍一 2. 論文標題 序・2 1980年代の試み 3. 雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無
成田龍一 2. 論文標題 序・2 1980年代の試み 3. 雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み 3.雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み 3.雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み 3.雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	48-14 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み 3.雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み 3.雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 成田龍一	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み 3.雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 成田龍一 2.論文標題	48-14 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み 3.雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 成田龍一	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764
成田龍一 2. 論文標題 序・2 1980年代の試み 3. 雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 成田龍一 2. 論文標題 原爆・被爆を描く別役実、あるいは戦後表象空間のなかの別役実 『象』『マクシミリアン博士の微	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764 5 . 発行年
成田龍一 2. 論文標題 序・2 1980年代の試み 3. 雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 成田龍一 2. 論文標題 原爆・被爆を描く別役実、あるいは戦後表象空間のなかの別役実 案』をめぐって 『象』『マクシミリアン博士の微 笑』をめぐって	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764 5 . 発行年 2020年
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み 3.雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 成田龍一 2.論文標題 原爆・被爆を描く別役実、あるいは戦後表象空間のなかの別役実 『象』『マクシミリアン博士の微笑』をめぐって 3.雑誌名	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
成田龍一 2. 論文標題 序・2 1980年代の試み 3. 雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 成田龍一 2. 論文標題 原爆・被爆を描く別役実、あるいは戦後表象空間のなかの別役実 案』をめぐって 『象』『マクシミリアン博士の微 笑』をめぐって	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764 5 . 発行年 2020年
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み 3.雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 成田龍一 2.論文標題 原爆・被爆を描く別役実、あるいは戦後表象空間のなかの別役実 『象』『マクシミリアン博士の微笑』をめぐって 3.雑誌名	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
成田龍一 2.論文標題 序・2 1980年代の試み 3.雑誌名 現代思想 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 成田龍一 2.論文標題 原爆・被爆を描く別役実、あるいは戦後表象空間のなかの別役実 『象』『マクシミリアン博士の微笑』をめぐって 3.雑誌名	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
成田龍一 2.論文標題	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 155-170
成田龍一 2 . 論文標題	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 764 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 155-170 査読の有無
成田龍一 2 . 論文標題	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 155-170
成田龍一 2 . 論文標題 序・2	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 155-170 査読の有無 有
成田龍一 2 . 論文標題	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 764 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 155-170 査読の有無
成田龍一 2 1 1 1 1 1 1 1 1	48-14 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 213-221 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 764 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 155-170 査読の有無 有

	T . W
1.著者名	4 . 巻
成田龍一	1159
2 . 論文標題	5.発行年
	2020年
桐野夏生の「1972年」 『抱く女』『夜の谷を行く』『夜また夜の深い夜』	2020#
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
思想	80-106
<i>John</i> .	00 100
	本誌の左仰
	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
オープンテクセスとしている(また、との子をものも)	-
1.著者名	│ 4.巻
Shizue Osa	55
0112de 03d	
2 5公分+無因	r 整仁左
2.論文標題	5 . 発行年
Where and who have been Nisei soldiers the war memory without gender?	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
国際文化学研究	187-202
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.24546/81012665	有
10.24040/01012000	
1	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	•
1,著者名	4 . 巻
	_
板垣竜太	134
2.論文標題	5.発行年
2 . 論文標題	5.発行年
2 . 論文標題	5.発行年 2020年
2.論文標題琉球民族遺骨返還訴訟への意見書3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題	5.発行年 2020年
2.論文標題琉球民族遺骨返還訴訟への意見書3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題琉球民族遺骨返還訴訟への意見書3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3.雑誌名 評論・社会科学	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177
2 . 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3 . 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無
2.論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3.雑誌名 評論・社会科学	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177
2. 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3. 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無
2. 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3. 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無
2. 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3. 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無
2. 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3. 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無
2.論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3.雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著
2. 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3. 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無
2. 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3. 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3.雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書3.雑誌名 評論・社会科学掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 板垣竜太	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21
2.論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3.雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年
2.論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書3.雑誌名 評論・社会科学掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 板垣竜太	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21
2. 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3. 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 板垣竜太 2. 論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年
2 . 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3 . 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板垣竜太 2 . 論文標題 人類学京都学派と台湾:京都帝大解剖学第二講座の人骨研究の系譜	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年
 2.論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3.雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題 人類学京都学派と台湾:京都帝大解剖学第二講座の人骨研究の系譜 3.雑誌名 	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3 . 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板垣竜太 2 . 論文標題 人類学京都学派と台湾:京都帝大解剖学第二講座の人骨研究の系譜	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年
 2.論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3.雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題 人類学京都学派と台湾:京都帝大解剖学第二講座の人骨研究の系譜 3.雑誌名 	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3 . 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板垣竜太 2 . 論文標題 人類学京都学派と台湾:京都帝大解剖学第二講座の人骨研究の系譜 3 . 雑誌名 二十世紀研究(京都大学)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 79-107
2 . 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3 . 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセス 4ープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板垣竜太 2 . 論文標題 人類学京都学派と台湾:京都帝大解剖学第二講座の人骨研究の系譜 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
 2.論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3.雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題 人類学京都学派と台湾:京都帝大解剖学第二講座の人骨研究の系譜 3.雑誌名 二十世紀研究(京都大学) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 79-107
2 . 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3 . 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板垣竜太 2 . 論文標題 人類学京都学派と台湾:京都帝大解剖学第二講座の人骨研究の系譜 3 . 雑誌名 二十世紀研究(京都大学)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 79-107
 2.論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 79-107
 2 . 論文標題 琉球民族遺骨返還訴訟への意見書 3 . 雑誌名 評論・社会科学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027622 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板垣竜太 2 . 論文標題 人類学京都学派と台湾:京都帝大解剖学第二講座の人骨研究の系譜 3 . 雑誌名 二十世紀研究(京都大学) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 79-107
 2.論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 141-177 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 79-107

	1
1.著者名	4.巻
Rin Odawara	41-42
2.論文標題	5.発行年
	5.発行年 2020年
Anti-Nuclear Movement and 'Motherhood' in Post-War Japan: A Feminist Perspective	Z0Z0 年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
DEP: Deportate, esuli, profughe	54-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 英本存	A Y'
1 . 著者名	4.巻
長志珠絵	53
2.論文標題	5.発行年
Where was gender roll for Air defense in Japan 1945?	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際文化学研究(神戸大学国際文化学研究科)	71-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.24546/81011958	有
10.2 10.10/.010 / 1000	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
長志珠絵	114
2. 公立福田	
2.論文標題	5 . 発行年
近代日本の人種・人種化論と「国際結婚」言説の変容	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
人文学報(京都大学人文科学研究所)	171-186
The second Contract of Contract of Management A	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
掲載論又のDOT(アンタルオフシェクト識別子) なし	
<i>'</i> & ∪	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4	A Y
1.著者名	4.巻
金井光太朗	34
2.論文標題	5.発行年
2 · 調文標題 世界市民フランクリンに見る対抗文化としてのコスモポリタニズム	2019年
と対すはスプラフトラフに元を対抗人間としてのコスピかファースム	2013—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本 18世紀学会年報	28-38
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の方無
	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

│ 1.著者名	4 . 巻
成田龍一	828
0%四龍一	020
2.論文標題	5.発行年
『学習指導要領』「歴史総合」の歴史像をめぐって	2019年
2 사는 수	6 単知と単独の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
歴史評論	14-22
/正久 II III	17 22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
│ なし	有
	京 咖井茶
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
コープンプラビスであるが、人間の プラブラ ビスの 四無	
1.著者名	4.巻
成田龍一	74-11
0. 40.1.4.7.7	= 74.7= 1-
2 . 論文標題	5.発行年
方法としての「書き直し」・序説	2019年
기/ACUCW 盲C且U」, IP 때	ZU19 11
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
群像	84-148
41.60	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	旦祝の行無
なし	有
	13
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 XXA	4 44
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 成田龍一	4.巻 907
成田龍一	907
成田龍一 2.論文標題	907
成田龍一	907
成田龍一 2.論文標題	907
成田龍一 2.論文標題 「この30年」をどのように見るのか	907 5.発行年 2020年
成田龍一 2.論文標題	907
成田龍一 2.論文標題 「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名	907 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
成田龍一 2.論文標題 「この30年」をどのように見るのか	907 5.発行年 2020年
成田龍一 2.論文標題 「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名	907 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
成田龍一 2.論文標題 「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名	907 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
成田龍一 2 . 論文標題 「この30年」をどのように見るのか 3 . 雑誌名 歴史地理教育	907 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 94-101
成田龍一 2.論文標題 「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名	907 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
成田龍一 2. 論文標題「この30年」をどのように見るのか 3. 雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	907 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 94-101 査読の有無
成田龍一 2 . 論文標題 「この30年」をどのように見るのか 3 . 雑誌名 歴史地理教育	907 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 94-101
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有
成田龍一 2. 論文標題「この30年」をどのように見るのか 3. 雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	907 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 94-101 査読の有無
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスが困難	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 -
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスが困難	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題 日本の戦後処理と植民地支配責任	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年 2019年
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題 日本の戦後処理と植民地支配責任 3.雑誌名	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題 日本の戦後処理と植民地支配責任	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年 2019年
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題 日本の戦後処理と植民地支配責任 3.雑誌名	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題 日本の戦後処理と植民地支配責任 3.雑誌名	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題 日本の戦後処理と植民地支配責任 3.雑誌名 社会運動	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 20-35
成田龍一 2.論文標題「この30年」をどのように見るのか 3.雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 板垣竜太 2.論文標題 日本の戦後処理と植民地支配責任 3.雑誌名	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
成田龍一 2 . 論文標題「この30年」をどのように見るのか 3 . 雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 板垣竜太 2 . 論文標題 日本の戦後処理と植民地支配責任 3 . 雑誌名 社会運動 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 国際共著 4.巻 436 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 20-35
成田龍一 2 .論文標題「この30年」をどのように見るのか 3 .雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 .著者名 板垣竜太 2 .論文標題 日本の戦後処理と植民地支配責任 3 .雑誌名 社会運動	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 20-35
成田龍一 2 . 論文標題「この30年」をどのように見るのか 3 . 雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 板垣竜太 2 . 論文標題 日本の戦後処理と植民地支配責任 3 . 雑誌名 社会運動 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 国際共著 4.巻 436 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 20-35
成田龍一 2 . 論文標題「この30年」をどのように見るのか 3 . 雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 板垣竜太 2 . 論文標題日本の戦後処理と植民地支配責任 3 . 雑誌名 社会運動 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 20-35 査読の有無 無
成田龍一 2 . 論文標題 「この30年」をどのように見るのか 3 . 雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 板垣竜太 2 . 論文標題 日本の戦後処理と植民地支配責任 3 . 雑誌名 社会運動 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 国際共著 4.巻 436 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 20-35
成田龍一 2 . 論文標題「この30年」をどのように見るのか 3 . 雑誌名 歴史地理教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 板垣竜太 2 . 論文標題日本の戦後処理と植民地支配責任 3 . 雑誌名 社会運動 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	907 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 94-101 査読の有無 国際共著 - 4.巻 436 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 20-35 査読の有無 無

1 . 著者名 板垣竜太	
板垣竜太	4 . 巻
	920
0 #A-A-JEDT	- 7V./- /-
2.論文標題	5.発行年
向き合うこと、顔をそむけること : 三・一運動百周年と日本の植民地支配責任	2019年
2 144-4-4	6 目知し目然の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
世界	204-209
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	/ ///
	国際共 業
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	•
4 ***	4 244
1.著者名	4 . 巻
今井昭夫	218
2 *6-4-4-707	5 38/- AT
2 . 論文標題	5.発行年
ベトナムの宗教政策 - 信教の自由と国際関係ー	2018年
2 145+47	f 目知し目後の声
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
世界平和研究	58-66
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
40	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	· ·
4 ##4	4 ***
1.著者名	4 . 巻
板垣竜太	63(1)
	` ,
2 检查师师	r 整仁左
2.論文標題	5.発行年
書評 高誠晩著『 犠牲者 のポリティクス:済州4・3/沖縄/台湾2・28歴史清算をめぐる苦悩』	2018年
	•
3.雑誌名	6 早知レ早後の百
	6.最初と最後の頁
ソシオロジ	102-105
4月手2公立のDOL / デバカリ ナゴバ カリ MDIフン	大きの大何
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	無
なし	
なし	
	国際サダ
オープンアクセス	国際共著
	国際共著
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳	- 4.巻 21
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題	- 4.巻 ²¹ 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳	- 4.巻 21
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題	- 4.巻 ²¹ 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題	- 4.巻 21 5.発行年 2019年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題	- 4.巻 21 5.発行年 2019年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題 3 . 雑誌名 『クァドランテ』	- 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 139-144
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題 3 . 雑誌名 『クァドランテ』	- 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 139-144
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題 3 . 雑誌名 『クァドランテ』 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	- 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 139-144 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題 3 . 雑誌名 『クァドランテ』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 4.巻 21 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 139-144 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題 3 . 雑誌名 『クァドランテ』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	- 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 139-144 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 芹生尚子・小田原琳 2 . 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題 3 . 雑誌名 『クァドランテ』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 4.巻 21 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 139-144 査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
	822
小田原琳	022
2.論文標題	5.発行年
書評:ロジャース・ブルーベイカー著『グローバル化する世界と「帰属の政治」』	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『歴史評論』	101-106
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無

「オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英字句	4 . 巻
1 . 著者名	
篠原 琢	No.976
0 40-2-197	= 78.4= -
2 . 論文標題	5.発行年
「主権国家再考」(2018年度歴史学研究会大会 合同部会)へのコメント	2018年
工作自外行う」(2010年及歴史主則九五八五 日刊即五)、2017年1	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
歴史学研究	pp.186-190
	1
	1

掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	"
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
ク ノファノ Cへ Clo Gv V 、 太はカーノファフ C へが 四 兼	-
1.著者名	4.巻
	_
篠原 琢	41号
2 論文種類	5 発行在
2 . 論文標題	5 . 発行年
	5.発行年 2019年
2 . 論文標題 橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評	
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評	2019年
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評3.雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評	2019年
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究	2019年 6 . 最初と最後の頁
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究	2019年 6 . 最初と最後の頁 pp.87-98
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評3.雑誌名 東欧史研究	2019年 6 . 最初と最後の頁 pp.87-98
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3 . 雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評3.雑誌名東欧史研究掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なしオープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3 . 雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評3.雑誌名東欧史研究掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なしオープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3 . 雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 -
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3 . 雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3 . 雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 -
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3 . 雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 -
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名土田環 2.論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3 . 雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 -
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名土田環 2.論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土田環 2.論文標題 上映にかかわる用語	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土田環 2.論文標題 上映にかかわる用語 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土田環 2.論文標題 上映にかかわる用語	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土田環 2.論文標題 上映にかかわる用語 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土田環 2.論文標題 上映にかかわる用語 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3 . 雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環 2 . 論文標題 上映にかかわる用語 3 . 雑誌名 一般社団法人コミュニティシネマセンター編「映画上映年鑑2018」	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 86頁-93頁
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土田環 2.論文標題 上映にかかわる用語 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土田環 2.論文標題 上映にかかわる用語 3.雑誌名 一般社団法人コミュニティシネマセンター編「映画上映年鑑2018」	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 86頁-93頁
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土田環 2.論文標題 上映にかかわる用語 3.雑誌名 一般社団法人コミュニティシネマセンター編「映画上映年鑑2018」	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 86頁-93頁
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土田環 2.論文標題 上映にかかわる用語 3.雑誌名 一般社団法人コミュニティシネマセンター編「映画上映年鑑2018」 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 86頁-93頁 査読の有無 無
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土田環 2.論文標題 上映にかかわる用語 3.雑誌名 一般社団法人コミュニティシネマセンター編「映画上映年鑑2018」	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 86頁-93頁
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3.雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土田環 2.論文標題 上映にかかわる用語 3.雑誌名 一般社団法人コミュニティシネマセンター編「映画上映年鑑2018」 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 86頁-93頁 査読の有無 無
橋本伸也編著、『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』(ミネルヴァ書房)への書評 3 . 雑誌名 東欧史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環 2 . 論文標題 上映にかかわる用語 3 . 雑誌名 一般社団法人コミュニティシネマセンター編「映画上映年鑑2018」 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 pp.87-98 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2018 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 86頁-93頁 査読の有無 無

. ***	. 24
1 . 著者名	4.巻
成田龍一	第1号
2 . 論文標題	5.発行年
歴史的に考えるということ	2018年
歴史は元ものです。	2010 [
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
『高校生と考える希望のための教科書 桐光学園大学訪問授業』	240 - 252
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カープラックで入りはない。人はカープラックで入り四年	_
	4 44
1 . 著者名	4.巻
成田龍一	第2号
2 . 論文標題	5.発行年
「野火」の戦争社会学のために	2018年
217/7 424W 1. IT 27 1 AND AND	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『戦争社会学研究』	43-58頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カープラテクと人にはない。人はカープラテクと人が四年	-
4 224	1 A Y'
1 . 著者名	4.巻
成田龍一	第48号
2 . 論文標題	5 . 発行年
出発点、あるいは原点への遡行 井上ひさしの「戦後」・覚書	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
『社会文学』	17-30頁
" 任芸义子 』	17-30貝
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
3 JOS CARCAGO A NO. 3 JOS CAN EXE	I
4	
1 . 著者名	4 . 巻
CT LU #2	第14号
成田龍一	
2 . 論文標題	5 . 発行年
2 . 論文標題	
	5 . 発行年 2018年
2.論文標題 戦争と性暴力をめぐること、二つ、三つ	2018年
2 . 論文標題 戦争と性暴力をめぐること、二つ、三つ 3 . 雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 戦争と性暴力をめぐること、二つ、三つ	2018年
2.論文標題 戦争と性暴力をめぐること、二つ、三つ3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 戦争と性暴力をめぐること、二つ、三つ 3 . 雑誌名 『ジェンダー史学』	2018年 6 . 最初と最後の頁 107 - 118
2 . 論文標題 戦争と性暴力をめぐること、二つ、三つ 3 . 雑誌名 『ジェンダー史学』	2018年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 戦争と性暴力をめぐること、二つ、三つ 3 . 雑誌名 『ジェンダー史学』	2018年 6 . 最初と最後の頁 107 - 118 査読の有無
2 . 論文標題 戦争と性暴力をめぐること、二つ、三つ 3 . 雑誌名 『ジェンダー史学』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6 . 最初と最後の頁 107 - 118
2. 論文標題 戦争と性暴力をめぐること、二つ、三つ 3. 雑誌名 『ジェンダー史学』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 107 - 118 査読の有無 有
2 . 論文標題 戦争と性暴力をめぐること、二つ、三つ 3 . 雑誌名 『ジェンダー史学』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 107 - 118 査読の有無

│ 1.著者名	4.巻
成田龍一	第26集
2.論文標題	5.発行年
半世紀後に読む「天皇の世紀」 大佛次郎の明治維新像	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『おさらぎ選書』	107 - 118
いこうに応用さ	107 - 110
ID 48/AA \	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
成田龍一	717号
/A H 165	1113
0 66-1-1707	= 7×/= -
2.論文標題	5.発行年
世界の視点から見る「戦後日本史」の考え方・学び方	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『社会科教育』	54 - 57
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
<i>'</i> &∪	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	,
1 菜耂夕	A 类
1. 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 米谷匡史	4.巻 891号
米谷匡史	_
米谷匡史	891号
2.論文標題	891号 5 . 発行年
米谷匡史	891号
米谷匡史 2.論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」	891号 5.発行年 2019年
米谷匡史 2.論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
米谷匡史 2.論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」	891号 5.発行年 2019年
米谷匡史 2.論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
米谷匡史 2.論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
米谷匡史 2.論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名 『歴史地理教育』	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33
** ※ 谷 国 史 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33
米谷匡史 2.論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名 『歴史地理教育』	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33
** ※ 谷 国 史 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33
** ※ 谷 国 史 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33 査読の有無
** ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33
** ** ** ** ** ** ** ** ** **	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33 査読の有無
 ** ※谷匡史 2.論文標題「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスが困難 	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33 査読の有無 無 国際共著
 ** 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33 査読の有無 無 国際共著
 ** ※谷匡史 2.論文標題「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスが困難 	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33 査読の有無 無 国際共著
 ** 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33 査読の有無 無 国際共著
 米谷匡史 2.論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 95
米谷匡史 2.論文標題「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名今井昭夫 2.論文標題	891号 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 95
 米谷匡史 2.論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	891号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 95
 ** 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 今井昭夫 2 . 論文標題 東遊運動後のファン・ボイ・チャウにおけるアジア連帯論と仏越提携論 	891号 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 95 5.発行年 2017年
米谷匡史 2.論文標題「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 今井昭夫 2.論文標題	891号 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 95
 ※谷匡史 2.論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	891号 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 95 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁
 ** 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	891号 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 95 5.発行年 2017年
 ** 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	891号 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 95 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁
※ 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 今井昭夫 2 . 論文標題 東遊運動後のファン・ボイ・チャウにおけるアジア連帯論と仏越提携論 3 . 雑誌名 東京外国語大学論集	891号 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無 国際共著 4.巻 95 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 251-270
 ** 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	891号 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 95 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁
 ※谷匡史 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 今井昭夫 2 . 論文標題 東遊運動後のファン・ボイ・チャウにおけるアジア連帯論と仏越提携論 3 . 雑誌名 東京外国語大学論集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 95 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 251-270 査読の有無
※ 2 . 論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3 . 雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 今井昭夫 2 . 論文標題 東遊運動後のファン・ボイ・チャウにおけるアジア連帯論と仏越提携論 3 . 雑誌名 東京外国語大学論集	891号 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無 国際共著 4.巻 95 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 251-270
米谷匡史 2.論文標題「ニー独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名『歴史地理教育』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 今井昭夫 2.論文標題 東遊運動後のファン・ボイ・チャウにおけるアジア連帯論と仏越提携論 3.雑誌名 東京外国語大学論集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし	891号 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 95 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 251-270 査読の有無 無
 ※谷匡史 2.論文標題 「三・一独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名 『歴史地理教育』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 今井昭夫 2.論文標題 東遊運動後のファン・ボイ・チャウにおけるアジア連帯論と仏越提携論 3.雑誌名 東京外国語大学論集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス 	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 28 - 33 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 95 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 251-270 査読の有無
米谷匡史 2.論文標題「ニー独立運動、五・四運動と帝国日本のデモクラシー」 3.雑誌名『歴史地理教育』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 今井昭夫 2.論文標題 東遊運動後のファン・ボイ・チャウにおけるアジア連帯論と仏越提携論 3.雑誌名 東京外国語大学論集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし	891号 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 28-33 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 95 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 251-270 査読の有無 無

1.著者名	4 . 巻
小田原琳	38
O PHIMASIL	
o AAA IX DI	= 7v./=/=
2.論文標題	5 . 発行年
シルヴィア・フェデリーチー労働を人間の手に取り戻す	2018年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
POSSE	186-197
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カープラブラと人ではない、人はカープラブラと人が四点	
1.著者名	4.巻
小田原琳	73-5
小山思州	700
A A A LITTER	_ 7/-
2 . 論文標題	5.発行年
『キャリバンと魔女』の問いーマルクス主義フェミニズムを再考する	2018年
2 hhàt 67	て 見知に見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
福音と世界	22-27
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	木芸の左無
	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · =· ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
成田龍一	19
以 田	15
2.論文標題	5.発行年
松本清張『昭和史発掘』の位相	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
松本清張研究	41-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カーノファッピスとはない、又はカーノファッピスが四乗	-
1.著者名	4 . 巻
成田龍一	46-8
ᄊᄱᄩ	10 0
A A A LITTER	_ 7/-
	5 . 発行年
2 . 論文標題	
	2017年
2. 論文標題 金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について	
金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について	2017年
金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について 3.雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁
金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について	2017年
金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について 3.雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁
金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について 3.雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁
金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について 3.雑誌名 UP	2017年 6 . 最初と最後の頁 34-41
金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について 3.雑誌名 UP 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 34-41 査読の有無
金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について 3.雑誌名 UP	2017年 6 . 最初と最後の頁 34-41
金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について 3.雑誌名 UP 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 34-41 査読の有無
金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について 3.雑誌名 UP 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2017年 6.最初と最後の頁 34-41 査読の有無 無
金哲『植民地の腹話術師たち』(平凡社、2017年)、あるいは植民地経験の考察について 3.雑誌名 UP 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 34-41 査読の有無

│ 1.著者名	4.巻
成田龍一	47-2
PART RE	
0 PA - IE DE	= 2V./= h=
2 . 論文標題	5.発行年
内田隆三『乱歩と正史』(講談社、2017年)、あるいは探偵小説というジャンルについて	2018年
	·
	6.最初と最後の頁
UP	30-37
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カーノファッと人とはない、又はカーノファッとへが四無	-
1.著者名	4.巻
長志珠絵	15
は心で下面	
- AA	- 70 (
2 . 論文標題	5.発行年
「慰安所」・「慰安婦」言説の「戦後」を読む	2017年
2 4654-57	C 目知 L 目然 本五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
女性・戦争・人権	13-22
	本芸の左便
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
	当际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
	創刊号
長志珠絵	剧刊亏
2 . 論文標題	│ 5.発行年
防空という視座・防空と空襲 / 空爆のあいだ	2017年
別工という抗圧・例工と工装・工深ののいた	2017—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
戦争社会学研究	54-103
123 122 3 8170	0.100
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 有
なし	有
なし オープンアクセス	
なし	有
なし オープンアクセス	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス	国際共著 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス	国際共著 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環	有 国際共著 - 4.巻 1巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 1巻 5.発行年
なし	有 国際共著 - 4.巻 1巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環 2 . 論文標題 夢見る窓-21世紀以降のマルコ・ベロッキオ	有 国際共著 - 4.巻 1 ⁸ 5.発行年 2017年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 1 ⁸ 5.発行年 2017年
なし	有 国際共著 - 4 . 巻 1巻 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
なし	有 国際共著 - 4.巻 1 ⁸ 5.発行年 2017年
なし	有 国際共著 - 4 . 巻 1巻 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環 2 . 論文標題 夢見る窓-21世紀以降のマルコ・ベロッキオ 3 . 雑誌名 イタリア映画祭2017	有 国際共著 - 4 . 巻 1巻 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 66-71
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環 2 . 論文標題 夢見る窓-21世紀以降のマルコ・ベロッキオ 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 1巻 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 1巻 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 66-71 査読の有無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環 2 . 論文標題 夢見る窓-21世紀以降のマルコ・ベロッキオ 3 . 雑誌名 イタリア映画祭2017	有 国際共著 - 4 . 巻 1巻 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 66-71
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環 2 . 論文標題 夢見る窓ー21世紀以降のマルコ・ベロッキオ 3 . 雑誌名 イタリア映画祭2017 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	有 国際共著 - 4 . 巻 1巻 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 66-71 査読の有無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環 2 . 論文標題 夢見る窓-21世紀以降のマルコ・ベロッキオ 3 . 雑誌名 イタリア映画祭2017 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 1巻 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 66-71 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土田環 2 . 論文標題 夢見る窓-21世紀以降のマルコ・ベロッキオ 3 . 雑誌名 イタリア映画祭2017 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	有 国際共著 - 4 . 巻 1巻 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 66-71 査読の有無

│ 1 . 著者名	4 . 巻
今井昭夫	851
771.42	
A A VETT	_ 70 /= -
2.論文標題	5 . 発行年
南北統一後40年のベトナム	2016年
	·
	6.最初と最後の頁
歴史地理教育	4-9
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	257
今井昭夫	237
2.論文標題	5 . 発行年
ドイモイ期における戦後処理と戦争の記憶	2017年
- 1 こ 1 初にのける状体だ性に表すい即体	2017
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
アジ研 ワールド・トレンド	8-11
	• • •
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	,
	国際共 業
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	1 4 22
1 . 著者名	4 . 巻
	4.巻 21-5
1 . 著者名	
1.著者名 長志珠絵	21-5
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題	5 . 発行年
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る : 「授業・教科	21-5
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る: 「授業・教科書・入試」改革に向けて	21-5 5 . 発行年 2016年
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る : 「授業・教科	5 . 発行年
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る : 「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る : 「授業・教科書・入試」改革に向けて	21-5 5 . 発行年 2016年
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る : 「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る : 「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る: 「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る: 「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る: 「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	21-5 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 石井弓	21-5 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る: 「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 石井弓 2 . 論文標題	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 37
1 . 著者名 長志珠絵2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る: 「授業・教科書・入試」改革に向けて3 . 雑誌名 学術の動向掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1 . 著者名 石井弓2 . 論文標題 The Transmission of Wartime Memories: Films, Stories, and Dreams in Rural Villages of Shanxi,	21-5 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
1 . 著者名 長志珠絵2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る: 「授業・教科書・入試」改革に向けて3 . 雑誌名 学術の動向掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1 . 著者名 石井弓2 . 論文標題 The Transmission of Wartime Memories: Films, Stories, and Dreams in Rural Villages of Shanxi, China,	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年
1 . 著者名 長志珠絵2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る: 「授業・教科書・入試」改革に向けて3 . 雑誌名 学術の動向掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1 . 著者名 石井弓2 . 論文標題 The Transmission of Wartime Memories: Films, Stories, and Dreams in Rural Villages of Shanxi, China,	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安帰』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 石井弓 2 . 論文標題 The Transmission of Wartime Memories: Films, Stories, and Dreams in Rural Villages of Shanxi, China, 3 . 雑誌名	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 長志珠絵2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る: 「授業・教科書・入試」改革に向けて3 . 雑誌名 学術の動向掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1 . 著者名 石井弓2 . 論文標題 The Transmission of Wartime Memories: Films, Stories, and Dreams in Rural Villages of Shanxi, China,	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年
1 . 著者名 長志珠絵2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために (特集 歴史教育の明日を探る: 「授業・教科書・入試」改革に向けて3 . 雑誌名 学術の動向掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1 . 著者名 石井弓2 . 論文標題 The Transmission of Wartime Memories: Films, Stories, and Dreams in Rural Villages of Shanxi, China, 3 . 雑誌名	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 石井弓 2 . 論文標題 The Transmission of Wartime Memories: Films, Stories, and Dreams in Rural Villages of Shanxi, China, 3 . 雑誌名 Oral History Forum d'histoire orale	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-34
1 . 著者名 長志珠絵 2 . 論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 石井弓 2 . 論文標題 The Transmission of Wartime Memories: Films, Stories, and Dreams in Rural Villages of Shanxi, China, 3 . 雑誌名 Oral History Forum d'histoire orale	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-34
ま著者名 長志珠絵 はまで は	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-34 査読の有無
ま著者名 長志珠絵 は意味と こ・論文標題 『慰安婦』問題」を一般教養講義で語る/組み込むために(特集 歴史教育の明日を探る:「授業・教科書・入試」改革に向けて 3 . 雑誌名 学術の動向 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 石井弓 2 . 論文標題 The Transmission of Wartime Memories: Films, Stories, and Dreams in Rural Villages of Shanxi, China, 3 . 雑誌名 Oral History Forum d'histoire orale	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-34
まで記す。 までは、	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-34 査読の有無 有
ま著名名 長志珠絵 ま	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-34
まで記す。 までは、	21-5 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 37-42 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 37 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-34 査読の有無 有

1 . 著名名 石井弓 2 . 論文標題 2 . 論文標題 3 . 無試格 (間壁の交替 日中戦争のある * 特象 , の事例から 2016年 2016年 2016年 2016年 35-53 現代中国研究 5 . 無対年 2016年 2016年 無		
2. 論文標題 記憶色歴史の交錯 日中戦争のある「惨楽」の事例から 3. 雑誌名 現代中国研究 6. 是初と最後の頁 35-53 [編纂論文の2001(デジタルオブジェクト環例子) なし 7. デアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Rin Odosara 2. 論文標題 (violence against women and the racist discourse during the Will in Italy) 3. 雑誌名 in Quadrante 6. 最初と最後の頁 9-16 [編纂論文の2001(デジタルオブジェクト環例子) なし 7. デアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1.著者名	4 . 巻
2. 論文標題 記憶色歴史の交錯 日中戦争のある「惨楽」の事例から 3. 雑誌名 現代中国研究 6. 是初と最後の頁 35-53 [編纂論文の2001(デジタルオブジェクト環例子) なし 7. デアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Rin Odosara 2. 論文標題 (violence against women and the racist discourse during the Will in Italy) 3. 雑誌名 in Quadrante 6. 最初と最後の頁 9-16 [編纂論文の2001(デジタルオブジェクト環例子) なし 7. デアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
記憶と歴史の交錯 日中戦争のある「惨楽」の事例から 2016年 3 . 結話名 (4 . 最初と最後の頁 35-53)	H/I J	
記憶と歴史の交錯 日中戦争のある「惨楽」の事例から 2016年 3 . 結話名 (4 . 最初と最後の頁 35-53)	0	= 2V./= /=
3 ・結誌名 現代中国研究		
現代中国研究	記憶と歴史の交錯 日中戦争のある「惨案」の事例から	2016年
現代中国研究		
現代中国研究	2 사학 경	6 是初と是後の百
機能能なの0001(デジタルオブジェクト機別子)なし 型語の有無 無 日際共著 - 1 : 著書名		
### ### ### ### #####################	現代中国研究	35-53
### ### ### ### #####################		
### ### ### ### #####################		
### ### ### ### #####################	掲載絵文のDOI(デジタルオブジェクト幾別子)	本語の右無
1 著名名 1 表名名 1 表名名 1 表名名 2 . 論文標題 2 . 論文標題 2 . 記述の 2 . 記述の 2 . 記述の 3 . 無話名 3 . 無話名 4 . 世 19 19 10 10 10 10 10 10		
ま者名名 1 表 音名 2	なし	#
ま者名名 1 表 音名 2		
ま者名名 1 表 音名 2	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 Rin Odawara 4. 1. 巻 19		III.S.Y.L
Rin Odawara 2 . 論文標題 Violence against women and the racist discourse during the WWI in Italy' 5 . 飛行年 2017年 2017年 3 . 雑誌名 オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名名 小田原琳 2 . 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 1 . 著名名 小田原琳 2 . 論文標題 「平力ンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 小田原琳 2 . 論文書題 接験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 3 . 雑誌名 5 . 発行年 2016年 4 . 巻 51 1 . 著名名 小田原琳 5 . 第行年 2016年	オーノファクセスではない、又はオーノファクセスが困難	-
Rin Odawara 2 . 論文標題 Violence against women and the racist discourse during the WWI in Italy' 5 . 飛行年 2017年 2017年 3 . 雑誌名 オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名名 小田原琳 2 . 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 1 . 著名名 小田原琳 2 . 論文標題 「平力ンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 小田原琳 2 . 論文書題 接験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 3 . 雑誌名 5 . 発行年 2016年 4 . 巻 51 1 . 著名名 小田原琳 5 . 第行年 2016年		
Rin Odawara 2 . 論文標題 Violence against women and the racist discourse during the WWI in Italy' 5 . 飛行年 2017年 2017年 3 . 雑誌名 オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名名 小田原琳 2 . 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 1 . 著名名 小田原琳 2 . 論文標題 「平力ンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 小田原琳 2 . 論文書題 接験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 3 . 雑誌名 5 . 発行年 2016年 4 . 巻 51 1 . 著名名 小田原琳 5 . 第行年 2016年	1 著名名	Δ 券
2. 論文標題 Violence against women and the racist discourse during the WWI in Italy 3. 雑誌名 in Quadrante 4. 最初と最後の頁 9・16 1. 著名名 小田原琳 2. 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 2. 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 3. 雑誌名 ジェンダー史学 超談なのDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1. 著名名 小田原琳 2. 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 2. 最初と最後の頁 81・91 五読の有無 無 オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1. 著名名 小田原琳 2. 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 3. 雑誌名 日本の科学者 日際共著		
Violence against women and the racist discourse during the WWI in Italy ' 2017年 3 . 雑誌名 in Quadrante 6 . 最初と最後の頁 9-16 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 直続の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 養 12 1 . 著名名 小田原琳 4 . 巻 12 2 . 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向 - 2016年 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 6 . 最初と最後の頁 81-91 超数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 直続の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著名名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 - 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 - 2016年 日本の科学者 - 3 . 雑誌名 日本の科学者 - 5 . 最近の有無 無 5 . 最近の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 3 . 国際共産 - 3 . 国際 - 4 . 一3 . 国際 - 3 . 国際	KIN Odawara	19
Violence against women and the racist discourse during the WWI in Italy ' 2017年 3 . 雑誌名 in Quadrante 6 . 最初と最後の頁 9-16 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 直続の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 養 12 1 . 著名名 小田原琳 4 . 巻 12 2 . 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向 - 2016年 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 6 . 最初と最後の頁 81-91 超数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 直続の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著名名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 - 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 - 2016年 日本の科学者 - 3 . 雑誌名 日本の科学者 - 5 . 最近の有無 無 5 . 最近の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 3 . 国際共産 - 3 . 国際 - 4 . 一3 . 国際 - 3 . 国際		
Violence against women and the racist discourse during the WWI in Italy ' 2017年 3 . 雑誌名 in Quadrante 6 . 最初と最後の頁 9-16 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 直続の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 養 12 1 . 著名名 小田原琳 4 . 巻 12 2 . 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向 - 2016年 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 6 . 最初と最後の頁 81-91 超数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 直続の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著名名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 - 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 - 2016年 日本の科学者 - 3 . 雑誌名 日本の科学者 - 5 . 最近の有無 無 5 . 最近の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 3 . 国際共産 - 3 . 国際 - 4 . 一3 . 国際 - 3 . 国際	2 . 論文標題	5 . 発行年
1. 機能名		
1	violence against women and the racist discourse during the WWI III Italy	2011+
1		
1	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 小田原琳 4. 巻 12 2. 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 3. 雑誌名 ジェンダー史学 5. 発行年 2016年 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス イーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 5 1. 著者名 小田原琳 4. 巻 5f 2. 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5. 発行年 2016年 3. 雑誌名 日本の科学者 6. 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	quadratito	
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 小田原琳 4. 巻 12 2. 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 3. 雑誌名 ジェンダー史学 5. 発行年 2016年 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス イーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 5 1. 著者名 小田原琳 4. 巻 5f 2. 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5. 発行年 2016年 3. 雑誌名 日本の科学者 6. 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著		
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 小田原琳 4. 巻 12 2. 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 3. 雑誌名 ジェンダー史学 5. 発行年 2016年 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス イーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 5 1. 著者名 小田原琳 4. 巻 5f 2. 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5. 発行年 2016年 3. 雑誌名 日本の科学者 6. 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著		
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 小田原琳 4. 巻 12 2. 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 3. 雑誌名 ジェンダー史学 5. 発行年 2016年 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス イーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 5 1. 著者名 小田原琳 4. 巻 5f 2. 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5. 発行年 2016年 3. 雑誌名 日本の科学者 6. 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1 著者名		
オーブンアクセスとしている(また、その予定である) - 1. 著者名	40	[]
オーブンアクセスとしている(また、その予定である) - 1. 著者名		
1. 著者名 小田原琳 4. 巻 12 2. 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ ジェンダー史学 5. 発行年 2016年 3. 雑誌名 ジェンダー史学 6. 最初と最後の頁 81-91 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 小田原琳 4. 巻 51 2. 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5. 発行年 2016年 3. 雑誌名 日本の科学者 6. 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 小田原琳 4. 巻 12 2. 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ ジェンダー史学 5. 発行年 2016年 3. 雑誌名 ジェンダー史学 6. 最初と最後の頁 81-91 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 小田原琳 4. 巻 51 2. 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5. 発行年 2016年 3. 雑誌名 日本の科学者 6. 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
小田原琳 12 2 . 論文標題「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力 - イタリア歴史学における研究動向 - 2016年 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 6 . 最初と最後の頁 81-91 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無	(Marie Con Access of	
小田原琳 12 2 . 論文標題「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力 - イタリア歴史学における研究動向 - 2016年 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 6 . 最初と最後の頁 81-91 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無		
2 . 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 6 . 最初と最後の頁 81-91 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス イープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 ・ 1 . 著者名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 6 . 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	1.者者名	4. 巻
2 . 論文標題 「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 6 . 最初と最後の頁 81-91 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス イープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 ・ 1 . 著者名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 6 . 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	小田原琳	12
「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 2016年 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 6 . 最初と最後の頁 81-91 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 6 . 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2	
「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力・イタリア歴史学における研究動向・ 2016年 3 . 雑誌名 ジェンダー史学 6 . 最初と最後の頁 81-91 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ・イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 6 . 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2 *	F 38/-/-
3 . 雑誌名 ジェンダー史学 6 . 最初と最後の頁 81-91 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 6 . 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
ジェンダー史学 81-91 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 2016年 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 6 . 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	「平和の犯罪」としての戦時・植民地主義ジェンダー暴力 - イタリア歴史学における研究動向 -	2016年
ジェンダー史学 81-91 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 2016年 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 6 . 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著		
ジェンダー史学 81-91 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 2016年 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 6 . 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	2 株社夕	6 是却と是後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コ際共著 - コミネ名 小田原琳 4 . 巻 51 5 . 発行年 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 6 . 最初と最後の頁 30-35		
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 日 日際共著 - 1 . 著者名 小田原琳 - 1 . 著者名 小田原琳 - 5 . 発行年 2016年 日本の科学者 - 2016年 - 2016年 - 3 . 雑誌名 日本の科学者 - 2016年 - 3 . 2 . 2 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 .	ジェンダー史字	81-91
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 日 日際共著 - 1 . 著者名 小田原琳 - 1 . 著者名 小田原琳 - 5 . 発行年 2016年 日本の科学者 - 2016年 - 2016年 - 3 . 雑誌名 日本の科学者 - 2016年 - 3 . 2 . 2 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 .		
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 日 日際共著 - 1 . 著者名 小田原琳 - 1 . 著者名 小田原琳 - 5 . 発行年 2016年 日本の科学者 - 2016年 - 2016年 - 3 . 雑誌名 日本の科学者 - 2016年 - 3 . 2 . 2 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 .		
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 日 日際共著 - 1 . 著者名 小田原琳 - 1 . 著者名 小田原琳 - 5 . 発行年 2016年 日本の科学者 - 2016年 - 2016年 - 3 . 雑誌名 日本の科学者 - 2016年 - 3 . 2 . 2 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 .	提載絵文のDOI (デジタルオブジェクト禁則ス)	本芸の右無
オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 小田原琳4 . 巻 512 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義5 . 発行年 2016年3 . 雑誌名 日本の科学者6 . 最初と最後の頁 30-35掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	なし	無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 小田原琳4 . 巻 512 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義5 . 発行年 2016年3 . 雑誌名 日本の科学者6 . 最初と最後の頁 30-35掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 小田原琳4 . 巻 512 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義5 . 発行年 2016年3 . 雑誌名 日本の科学者6 . 最初と最後の頁 30-35掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 小田原琳 4 . 巻 51 2 . 論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 日本の科学者 6 . 最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		日かハ日
小田原琳512.論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義5.発行年 2016年3.雑誌名 日本の科学者6.最初と最後の頁 30-35掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	オーフファク ピス じはない、 又はオーフファクセス 小凶難	-
小田原琳512.論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義5.発行年 2016年3.雑誌名 日本の科学者6.最初と最後の頁 30-35掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著		
小田原琳512.論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義5.発行年 2016年3.雑誌名 日本の科学者6.最初と最後の頁 30-35掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	1、著者名	4 . 巻
2.論文標題 経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義 5.発行年 2016年 3.雑誌名 日本の科学者 6.最初と最後の頁 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		_
経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義2016年3.雑誌名 日本の科学者6.最初と最後の頁 30-35掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	(1) htt)坐 MA	υı
経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義2016年3.雑誌名 日本の科学者6.最初と最後の頁 30-35掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著		
経験の後に書かれる歴史へ - イタリア歴史学におけるレジスタンス神話と修正主義2016年3.雑誌名 日本の科学者6.最初と最後の頁 30-35掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	2 . 論文標題	5.発行年
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 日本の科学者 30-35 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著		
日本の科学者 30-35 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	近吸い区に自かがる歴史、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2010-
日本の科学者 30-35 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	- 4041	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 相	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 相	日本の科学者	30-35
なし 無 オープンアクセス 国際共著		
なし 無 オープンアクセス 国際共著		
なし 無 オープンアクセス 国際共著	Indula 1	
なし 無 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著		
	.60	~~
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	オーフンアクセス	国際共著
The state of the s	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが闲難	_
	コーラン・アース このらい スプラーフン・アース 日本	

1.著者名 金井光太朗	4 . 巻 19
2.論文標題 国民国家アメリカの創造とプリマスの記憶の神話化	5.発行年 2017年
3.雑誌名 クアドランテ	6.最初と最後の頁 103-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名	4 . 巻
成田龍一	954
2.論文標題 批判と反省 認識論の歴史学へ:安丸良夫の歴史学	5.発行年 2017年
3.雑誌名 歴史学研究	6.最初と最後の頁 27-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
「学会発表」 計52件(うち招待講演 15件/うち国際学会 16件)	
1.発表者名 金井光太朗	
2.発表標題 アメリカ独立再考:ポピュリズム的運動の系譜と連邦主権	
3.学会等名 第4回北米ポピュリズム史研究会(招待講演)	
4 . 発表年 2020年	
1.発表者名 金井光太朗	
2.発表標題 ポストトランプと左派ポピュリズムの可能性 新生民主党を担うオカシオ・コルテス議員	
3.学会等名 国際関係研究所研究会「『ポストトランプ』時代のアメリカ」(招待講演)	

4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 長志珠絵
2.発表標題 女系・女帝の可能性と<近代>
3 . 学会等名 歴史学研究会 シンポジウム「皇位継承再論 女帝・女系の可能性と皇太子」(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 長志珠絵
2.発表標題 <感染症の時代>をジェンダー射程で「読む」
3 . 学会等名 日本大学史学会 シンポジウム<歴史教育の未来を拓く : コロナ下の「新常態」とアクティブラーニング>(招待講演)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Rin Odawara
2 . 発表標題 A complicated relationship between the eugenics and the reproductive rights in Post-War Japan
3.学会等名 Reproductive (Non) Freedom (Ca' Foscari University of Venice, Italy)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 小田原琳
2 . 発表標題 無垢 の死者を想起することの困難:フォッセ・アルデアティーネの虐殺と戦後イタリアのナショナル・アイデンティティ
3.学会等名 東アジアのメモリー・レジーム:再現と遂行(西江大学、韓国)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名
Rin Odawara
2.発表標題
Motherhood and the Anti-nuclear Movement in Post-War Japan
·
3. 学会等名
Gender and Criticism: Japan in the Trans-Pacific (California State University, Northridge, the United States)(招待講演)
(国際学会)
4 . 発表年
2019年
2010-
1.発表者名
ィ・光衣有句 Yumi Ishii
Tumi Ishii
2.発表標題
Orphan of Zhao: A Story and the Dynamism of Village Community in Shanxi China
2 24/4/24
3.学会等名
European Association for Chinese Studies (EACS)(招待講演)
4 7V=1r
4.発表年
2020年
1. 発表者名
板垣竜太
2. 発表標題
収集と権力:京都帝大人類学研究室の「南島」調査
3.学会等名
人骨問題を考える連続学習会@京都大学 第2回
4.発表年
2019年
1.発表者名
板垣竜太
2.発表標題
台湾の人骨問題と日本 - 琉球 :京都帝大解剖学講座の系譜(あるいは博士の異常な愛情)
3. 学会等名
人骨問題を考える連続学習会@京都大学 第6回
4 . 発表年
2020年

1.発表者名
板垣竜太
2 . 発表標題
1930年代の京都帝国大学人類学研究室の奄美調査を歴史化する
3 . 学会等名
奄美における大学の 調査・収集・研究 を考える:1930年代の「人類学」をとば口に(奄美郷土研究会,於・奄美大島教育会館)
4.発表年
2019年
1.発表者名
Rin ODAWARA
ITTI ODANAM
o 7X-1466
2. 発表標題
Forgotten women in the memory and history: from the cases during the WWI in Italy
3 . 学会等名
「帝国とネイションを語る:中央ヨーロッパと日本における政治・宗教・文化比較」(Central European University)(招待講演)(国際
中国とネーフョンを出る:「「スコーロッパと日本にのける政治 styl (contral European on voisity) (田内山 学会)
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
Rin ODAWARA
2 . 発表標題
Un/learning her rights: the issue of reproduction in the 68 and after in Japan
3.学会等名
Words and Violence: Global History of the 1968 Protests in Japan and its Contemporary Meaning (Leiden University)(招待講
演)(国際学会)
4 . 発表年
2018年
20.01
4 W=±47
1. 発表者名
Rin ODAWARA
2 . 発表標題
Anti-nuclear Movements and the Concept of 'Motherhood' in Post-War Japan: A Feminist Perspective
and the consequence and th
2
3.学会等名
Donne Disarmanti / Disarming Women (University of Venice Ca'Foscari)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2018年

1.発表者名 土田 環
2 . 発表標題 日本映画における「自主映画」の概念の変遷と再定義の必要性
3.学会等名 文化経済学会<日本>2018年度京都大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 土田環 ほか
2 . 発表標題 パネルディスカッション「若年層の観客を開拓する-大学生・高校生と映画館」
3 . 学会等名 全国コミュニティシネマ会議
4.発表年
2018年
1.発表者名 土田環 ほか
2 . 発表標題 パネルディスカッション「学校における映画教育の役割とは」
3 . 学会等名 フォーラム「こどもが映画と出会うとき2019」
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Yumi Ishii
2 . 発表標題 Multilayered memory of Sino-Japanese war, University of Oxford, UK (中国語、英語)
3 . 学会等名 International conference of Memories of World War : China and Europe(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2018年

1. 発表者名
Yumi Ishii
2. 発表標題
Memory of the Sino-Japanese war: Society others and self -identity in oral history ,the University of Oxford, UK (中国語)
3 . 学会等名
Mandarin Forum (招待講演)
4 . 発表年
2018年
1. 発表者名
成田龍一
2.発表標題
「井上ひさしのPLAY」
a. W.A. data ta
3.学会等名
TPワークショップ
4.発表年
- 2018年
2010—
1.発表者名
成田龍一
0 7V+1=0=
2.発表標題
「音声の「近代」をめぐる二、三のこと」
3 . 学会等名
神奈川大学常民文化研究所(2018年度第一回歴史民俗資料学研究科公開講座)
4. 発表年
2018年
1
1.発表者名 成田龍一
以山能
2 . 発表標題
「『言葉と戦車』をめぐって 加藤周一の1968年」
3.学会等名
Words and Violence: Global History of the 1968 Protests in Japan and its Contemporary Meaning
4.発表年
2018年

1.発表者名
岩崎稔
2.発表標題
1968 and Left Wing Melancholy
1300 and Left filling metalionery
3.学会等名
Words and Violence: Global History of the 1968 Protests in Japan and its Contemporary Meaning
4.発表年
2018年
1. 発表者名
岩崎稔
2.発表標題
Hegel and the Play of Both Powers
3 . 学会等名
Transpacific Workshop 2018, Focus: Play
2018年
2010—
1.発表者名
2.発表標題
2.発表標題 記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3.学会等名
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3.学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3.学会等名
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3.学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4.発表年
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3.学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4.発表年
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3.学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4.発表年 2018年
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3.学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4.発表年 2018年
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3.学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4.発表年 2018年
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3 . 学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 岩崎稔
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3 . 学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 岩崎稔 2 . 発表標題
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3 . 学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 岩崎稔
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3 . 学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 岩崎稔 2 . 発表標題
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3 . 学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 岩崎稔 2 . 発表標題 Global Protest "1968" in Japan
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3 . 学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 岩崎稔 2 . 発表標題 Global Protest "1968" in Japan 3 . 学会等名
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3 . 学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 岩崎稔 2 . 発表標題 Global Protest "1968" in Japan
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3 . 学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンボジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 岩崎総 2 . 発表標題 Global Protest "1968" in Japan 3 . 学会等名 France/Japan/Global Workshop
 記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3 . 学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 岩崎稔 2 . 発表標題 Global Protest "1968" in Japan 3 . 学会等名 France/Japan/Global Workshop 4 . 発表年
記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3 . 学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンボジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 岩崎総 2 . 発表標題 Global Protest "1968" in Japan 3 . 学会等名 France/Japan/Global Workshop
 記憶論的転回とユートピアの枯渇、あるいは左翼メランコリー 3 . 学会等名 西江大学・早稲田大学共同シンポジウム「グローバルな記憶空間としての東アジアver.2」 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 岩崎稔 2 . 発表標題 Global Protest "1968" in Japan 3 . 学会等名 France/Japan/Global Workshop 4 . 発表年

1. 発表者名
小田原琳
2.発表標題
Rights of Women vs. Rights of Disabled People: Eugenics in Japan after 1968
3.学会等名
European Association for Japanese Studies 2017, ノーヴァ・デ・リスボン大学(国際学会)
European Account for Capanics Citation 2011, 7 J.
4.発表年
2017年
20117
1.発表者名
小田原琳
小田は大学
2.発表標題
生への権利と生殖への権利ー現代日本におけるフェミニズムと優生思想
T WEIGHT WEIGHTON OF THE MENT
3.学会等名
グローバルな記憶空間としての東アジア(国際学会)
4 . 発表年
2017年
1. 発表者名
小田原琳
2 . 発表標題
Comment on Carmen Belmonte, Fictive Realities: The Practice of Human Display in Italian National Exhibitions'
3.学会等名
先住民をめぐる言説・表象・プラクティス
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
小田原琳、久米順子
2. 発表標題
Feminismo o eugenesia? Debates en torno al aborto en el Japon de postguerra
3.学会等名
Congreso internacional en historia de las mujeres y estudios de genero
4. 発表年
2018年

. Tetala
1. 発表者名
成田龍一
o TV-LER
2 . 発表標題
『野火』の戦争社会学
3.学会等名
戦争社会学会
4.発表年
2017年
• •
1.発表者名
成田龍一
· 风口能
2 改丰福度
2.発表標題
傷は癒えたか
3.学会等名
4th Trance-pacific Workshop, カルフォルニア大学(国際学会)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
成田龍一
成 田龍一
2 7V ± 145 F7X
2 . 発表標題
21世紀に、大江健三郎「政治少年死す」を読む
3 . 学会等名
European Association for Japanese Studies 2017, ノーヴァ・デ・リスボン大学(国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名
・
ル川龍
2 及主価時
2.発表標題
日本の日本、アメリカの日本
5 WAME
3. 学会等名
Order and Disorder: Critical Reflections on Japanese Studies, a conference honoring J, Victor Koschmann, コーネル大学(国際
学会)
4.発表年
2017年

1.発表者名 成田龍一
ᄴᄊᄖᄩ
2.発表標題
出発点、あるいは原点への遡行-井上ひさしの「戦後」
3 · チ云寺日 日本社会文学会
4 · 光农中 2017年
1 . 発表者名 成田龍一
2.発表標題
戦後的思考/戦後後的思考のその先へ
文教大学
2017年
1.発表者名
成田龍一
2.発表標題
2 . 光衣信題 戦争・紛争と性暴力
3 . 学会等名 シンポジウム、ジェンダー史が拓く歴史教育、奈良女子大学
タンパンリム、シェンター文が指へ歴史教育、示義女士大子
4.発表年 2017年
1. 発表者名
成田龍一
2.発表標題
近代のなかの「戦後」/「戦後」のなかの明治
3.子云寺石 国際シンポジウム、戦後日本文化再考、国際日本文化研究センター(国際学会)
4 · 完衣牛 2018年

4 N. T.
1.発表者名 長志珠絵
以心が不成
2.発表標題
ジェンダー史研究の可能性 「銃後と前線」という語り
3.チ云寺日 アジアのなかの日本文化セミナー【第15回】、名古屋大学(招待講演)
2017年
1.発表者名
土田環
公設民営方式による映画館運営の課題ー富山市フォルツァ総曲輪の事例
3.学会等名
文化経済学会2017研究大会、大分芸術短期大学
4.発表年
2017年
1.発表者名
板垣竜太
Divided Family and Shared Memories: Entangled Life History of a North Korean Linguist Kim Su-gyong and His Fmaily
,
- W.A. blocker
3. 学会等名
Transnational Cultures: Colonialism and the Cold War in Japan and Korea, The 3rd TUDOKU Coferance(国際学会)
4 . 発表年 2017年
2011 +
1.発表者名
- 1. 光衣有名 - 岩崎稔
그 바이 기心
2 . 発表標題
夭折する青春の自画像
European Association of Japanese Studies 2017 (国際学会)
4.発表年
2017年
1

1.発表者名
1. 完衣有右 岩崎稔
טוז פייי טוז פייי און
2.発表標題
"Vicissitudes of Japan's Reception of Hegel and the Shock of Hegel and Haiti"
3 . 学会等名
Order and Disorder: Critical Reflections on Japanese Studies(国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名
区へ心が不高区
2.発表標題
「空襲」イメージか はらむ記憶の国境線 帝国の防空とその記録・記憶
3 · 7 · 7 · 7 · 7 · 7 · 7 · 7 · 7 · 7 ·
4.発表年
2016年
1.発表者名
長志珠絵
戦争認識への問いを<試す><開く>ということ-空襲・空爆・防空のあいだ-
3.学会等名
立命館史学会大会(招待講演)
2016年
1.発表者名
石井弓
~ .光衣信題 オーラルヒストリーによって記憶を考える
- 3 ングこハーン にあって即応とったる
3.学会等名
学問を考える会
4.発表年 2016年
2016年

1
1.発表者名 石井弓
HVI 1
2.発表標題
中国における社会主義時代の集団化と戦争記憶
3.学会等名
戦争と社会主義のメモリースケープ研究会
状子とは五工我のグランググークが行わる
4 . 発表年
2016年
1.発表者名
Rin Odawara
2 ※主任時
2 . 発表標題 How Clobal was Furopean Colonialism?
How Global was European Colonialism?
3.学会等名
「ヨーロッパ史における中心・周縁再考」(東京外国語大学)
4. 発表年
2017年
1 . 発表者名
小田原琳
2.発表標題
シルヴィア・フェデリーチ『キャリバンと魔女』を読む
W-1-W-1
3 . 学会等名
ワークショップ「魔女とナウトピア 脱資本主義のパラレルワールド」(東京外国語大学)
A 23字左
4.発表年 2017年
4V117
1.発表者名
Rin Odawara
····· Gadinara
2.発表標題
La divisione del lavoro di genere e la nuova strategia dei lavoratori stranieri in Giappone
3.学会等名
ে প্রকান City of Como and the University of Insubria, "Generi a colori: proposte formative per comunita multiculturali", Como
(Italy)
4 . 発表年
2016年

1.発表者名 米谷匡史	
2.発表標題日中戦争期・朝鮮知識人の「世界史の哲学」	
3.学会等名 国際研究集会「植民地知識人の「近代の超克」論」 ソウル大学・人文学研究院	
4. 発表年 2016年	
1.発表者名 成田龍一	
2 . 発表標題 「クローン」のポリティックス カズオ・イシグロ『わたしを離さ ないで』(Never Let Me Go)をめぐっ	τ
3 . 学会等名 TPW(環太平洋ワークショップ)	
4 . 発表年 2016年	
[図書] 計33件	
1.著者名 小田原琳	4 . 発行年 2020年
2.出版社 績文堂	5 . 総ページ数 ¹⁷¹
3 . 書名 パンデミックとジェンダー分業 共同体の公正な存続のために:歴史学研究会編『コロナの時代の歴史学』	
1.著者名 小田原琳	4 . 発行年 2021年
2.出版社 岩波書店	5 . 総ページ数 ²⁴⁶
3.書名 (共訳)バーバラ・H.ローゼンワイン/リッカルド・クリスティアーニ『感情史とは何か』	

	,
1.著者名 小田原琳	4 . 発行年 2021年
2.出版社 岩波書店	5 . 総ページ数 ²⁹⁴
3.書名 (翻訳)ゼバスティアン・コンラート『グローバル・ヒストリー 批判的歴史叙述のために』	
1.著者名 成田龍一	4 . 発行年 2021年
2.出版社 岩波書店	5.総ページ数 ⁴²⁸
3.書名 方法としての史学史	
1.著者名 板垣竜太	4 . 発行年 2020年
2. 出版社 耕文社	5.総ページ数 ²⁴⁹
3.書名 「京都帝大の人類学者の植民地主義的ダブルスタンダード」松島泰勝・山内小夜子編著『京大よ、還せ: 琉球人遺骨は訴える』	
1 . 著者名	4 . 発行年
篠原琢	2020年
2.出版社 ミネルヴァ書房	5.総ページ数 340
3.書名 「帝国」(文旦執筆)『論点・西洋史学』	

1 . 著者名 長志珠絵	4 . 発行年 2019年
2.出版社 文理閣	5 . 総ページ数 ³⁷⁴
3.書名 「史料蒐集と<植民地> - 『朝鮮史』史料採訪『復命書』を中心に」桂島宣弘編著『東アジア・遭遇する 知と日本 トランスナショナルな思想史の試み』	
1 . 著者名 土田環(編)	4 . 発行年 2019年
2.出版社 山形国際ドキュメンタリー映画祭東京事務局	5 . 総ページ数 ¹⁶⁴
3 . 書名 特集カタログ「Double Shadows 2 映画と生の交わる場所」	
4 # # # #	4 36/-7-
1 . 著者名 石井弓 	4 . 発行年 2019年
2.出版社 勉成出版	5.総ページ数 ⁵¹²
3.書名 「戦争記憶をめぐる再帰的な自己実践ーオーラルヒストリーによる他者理解と自己理解」菅豊、北條勝貴 編著『パブリック・ヒストリー入門』	
1 . 著者名	4 . 発行年
成田龍一	2019年
2.出版社 三人社	5.総ページ数 603
2.出版社	5 . 総ページ数
2.出版社 三人社 3.書名	5 . 総ページ数

1 . 著者名 竹沢泰子・田辺明生・成田龍一	4 . 発行年 2020年
2.出版社	5 . 総ページ数
京都大学学術出版会	う . 続いーン数 423
3.書名 『環太平洋地域の移動と人種』	
1.著者名 今井昭夫	4.発行年 2019年
2.出版社 山川出版社	5 . 総ページ数 83
3.書名 ファン・ボイ・チャウ	
1 . 著者名 金富子・板垣竜太責任編集	4 . 発行年 2018年
2. 出版社 御茶の水書房	5.総ページ数 222
3 . 書名 [増補版] Q&A朝鮮人「慰安婦」と植民地支配責任 : あなたの疑問に答えます	
1.著者名 土田 環 編訳	4 . 発行年 2018年
2.出版社 ソリレス書店	5 . 総ページ数 183
3.書名 歩く、見る、待つ ペドロ・コスタ映画論講	

	T . = 4 - 4
1 . 著者名 成田龍一	4 . 発行年
以山龍	2019年
	F /// .0 >>\\
2 . 出版社 ハーベスト社	5.総ページ数 196
	100
3 . 書名 - 『ナマドゥヴ - 知労 / 「知知り人士美女+ ナッツ魚 - ナスルは座中側のマケルについて - >	
『太平洋食堂』解説(「初期社会主義者たちの群像、あるいは歴史劇の可能性について」)	
1.著者名	4.発行年
成田龍一	2019年
	5.総ページ数
集英社	494
3 . 書名	
3 . 青石 『近現代日本史との対話 【幕末・維新 戦前編】』	
	1
1.著者名	4.発行年
成田龍一	2019年
2.出版社	5.総ページ数
集英社	558
3 . 書名	
『近現代日本史との対話 【戦中・戦後 現在編】』	
1.著者名	4.発行年
	4 . 発行年 2018年
Programme 1 minut	
2.出版社	5.総ページ数
と・山脈社 岩波書店	フ・Mar ハーフ 女X 268
つ 事々	
3 . 書名 『創られた明治、創られる明治』	
	I

1.著者名 岩崎稔 岩崎稔	4 . 発行年 2018年
2 . 出版社 勉誠出版	5.総ページ数 310
7번 gi/k, LLI /l/X	310
3 . 書名	
アジアの戦争と記憶	
	<u> </u>
1.著者名ヘイドン・ホワイト、岩崎稔監訳	4 . 発行年 2017年
ハイドン・ハソイド、石岬松盖叭	2017#
2.出版社	5.総ページ数
作品社	703
3.書名	
3 . 青石 メタヒストリー(小田原琳担当:575-648)	
1 . 著者名	4 . 発行年
高橋進・村上義和編著	2017年
2.出版社	5.総ページ数
明石書店	366
2	
3.書名 イタリアの歴史を知るための50章(小田原琳担当:193-198,211-212,286-288,296-298)	
	J
1. 著者名	4 . 発行年
上野千鶴子・蘭信三・平井和子編	2018年
2.出版社	5.総ページ数
岩波書店	384
3.書名 戦争と性暴力の比較史へ向けて(成田龍一「性暴力と日本近代歴史学ー「出会い」と「出会いそこ	
ね」」): 257-281	
]

1 . 著者名 安藤紘平・岡室美奈子・是枝裕和・谷昌親・土田環・長谷正人・元村直樹編	4 . 発行年 2018年
2.出版社 フィルムアート社	5 . 総ページ数 ⁴⁷²
3.書名 映画の言葉を聞く(土田環担当:69-82,97-112,127-140,173-186,225-240,289-302,303-318,319-332,347- 362)	
1.著者名 岡本有佳編	4 . 発行年 2017年
2. 出版社 お茶の水書房	5 . 総ページ数 ²⁷⁶
3.書名 誰が 表現の自由 を殺すのか:ニコンサロン「慰安婦」写真展中止事件裁判の記録(板垣竜太「レイシズムの〈反日〉攻撃のなかで表現の場をつくりだすこと」:74-82)	
1.著者名 洪宋郁編	4 . 発行年 2017年
2.出版社 ソウル大学出版文化院	5 . 総ページ数 ⁶⁶⁸
3 . 書名 植民地知識人の近代超克論(米谷匡史担当「序文」5-12、「解題:中日戦争期・朝鮮知識人の「世界史の哲学」:433-458)	
1.著者名 第17回日韓・韓日歴史家会議報告書	4 . 発行年 2018年
2. 出版社 日韓文化交流基金発行	5 . 総ページ数 ²⁴⁰
3.書名 東アジアの平和思想とその実践一歴史的考察(米谷匡史担当「第2セッション 裵京漢報告に対する討論」: 153-156、「第4セッション 総合討論」: 213-239)	

1.著者名 岩崎稔	4 . 発行年 2017年
2 . 出版社 作品社	5.総ページ数 703
3.書名 「メタヒストリーとはどのような問いか」『メタヒストリー - 十九世紀ヨーロッパの歴史的想像力』	
1 . 著者名 岩崎稔	4.発行年 2017年
2.出版社 法政大学出版局	5.総ページ数 ²⁹⁶
3.書名「解題」『ヘーゲルとハイチ』(スーザン・バックモース著、岩崎稔訳)	
1 . 著者名 AZAK (在日コリアン弁護士協会) 編	4 . 発行年 2016年
2.出版社 影書房	5.総ページ数 ²⁰³
3.書名 ヘイトスピーチはどこまで規制できるか(板垣竜太「基調報告 日本のレイシズムとヘイトスピーチ」: 9-49)	
1.著者名東京歴史科学研究会編	4 . 発行年 2017年
2.出版社 岩波書店	5.総ページ数 323
3 . 書名 歴史を学ぶ人々のために 現在をどう生きるか(小田原琳担当「 境界 を創りだす力 南イタリア から立てる近代への問い」:203-221	

1 . 著者名 シルヴィア・フェデリーチ	4 . 発行年 2017年
2.出版社以文社	5.総ページ数 517
3 . 書名 キャリバンと魔女(小田原琳・後藤あゆみ訳)	
1.著者名 遠藤泰生編	4 . 発行年 2017年
2.出版社 東京大学出版会	5.総ページ数 ³⁶⁴
3.書名 近代アメリカの公共圏と市民:デモクラシーの政治文化史(金井光太朗「アメリカ共和政の試練?人民の同意と主権者人民」:59-88)	
1 . 著者名 宇野田尚哉・川口隆行・坂口博・鳥羽耕史・中谷いずみ・道場親信編	4 . 発行年 2016年
2 . 出版社 影書房	5.総ページ数 ³⁶⁶
3 . 書名 「サークルの時代」を読む 戦後文化運動研究への招待(米谷匡史「療養所の詩サークルと工作者たち 大谷浩之と谷川雁」:211-216	
〔産業財産権〕	
〔その他〕	
2 nd Trans-Pacific Workshop https://www.international.ucla.edu/japan/event/11329 TP Workshop: The Politics of Life and Death https://www.international.ucla.edu/japan/event/12007	
	ļ

6 . 研究組織

6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	今井 昭夫	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授	
研究分担者	(IMAI AKIO)		
	(20203284)	(12603)	
	篠原 琢	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授	
研究分担者	(SHINOHARA TAKU)		
	(20251564)	(12603)	
	長 志珠絵	神戸大学・国際文化学研究科・教授	
研究分担者	(OSA SHIZUE)		
	(30271399)	(14501)	
	金井 光太朗	東京外国語大学・その他部局等・名誉教授	
研究分担者	(KANAI KOHTARO)		
	(40143523)	(12603)	
	石井 弓	東京大学・大学院情報学環・学際情報学府・特別研究員	
研究分担者	(ISHII YUMI)		
	(50466819)	(12601)	
研究分担者	成田 龍一	日本女子大学・人間社会学部・研究員	
担者	(NARITA RYUICHI) (60189214)	(32670)	
	板垣 竜太	同志社大学・社会学部・教授	
研究分担者	(RYUTA ITAGAKI)		
	(60361549)	(34310)	
	小田原 琳	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授	
研究分担者	(RIN ODAWARA)		
	(70466910)	(12603)	
		11:/	1

ひ.1所九組織し ノノさ	6		研究組織	(つづき	`
--------------	---	--	------	---	-----	---

	氏名		
	(ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	土田 環	早稲田大学・理工学術院・講師(任期付)	
研究分担者	(TAMAKI TSUCHIDA)		
	(70573658)	(32689)	
	米谷 匡史	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授	
研究分担者	(YONETANI MASAFUMI) (80251312)	(12603)	
		, ,	
研究分担者	藤井 豪 (FUJII TAKESHI)	東京外国語大学・世界言語社会教育センター・講師	
	(70886217)	(12603)	

7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

「国際研究集会 〕 計2件

(国际则九来去) 时217	
国際研究集会	開催年
『メタヒストリー』の射程で考える歴史叙述と記憶の問題系	2017年~2017年
国際研究集会	開催年
East Asia as Global Memory Space	2017年~2017年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------